

平安朝文学研究会 2019年度 第1回研究発表会

日 時 2019年9月28日(土) 14:30~16:45

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス 39号館5階 第5会議室

*39号館は、キャンパス内の右手奥にある、カーヴを描く建物です。

○ 研究発表

瀧山 嵐 (早稲田大学大学院文学研究科 修士課程)

『源氏物語』における宴と酔態 —偽装された酔いを中心に—

物語文学に記述される酔態の多くは、宴の場において顕著である。『源氏物語』には偽装された酔態が僅かにみられる。本発表では、酔いと宴の場との連関を視座に据えた上で、偽装された酔いが、物語においていかなる方法たりえていたのか考証する。

馬 如慧 (北京外国語大学 博士課程)

『源氏物語』における「ををし」と「あざやか」

『源氏物語』において、頭中将・夕霧・鬚黒の三者には「ををし」と「あざやか」が近接して用いられる傾向がある。しかも、「なまめかし」「愛敬づく」などとされる光源氏・柏木・萤宮との対照も図られているようである。本発表では、平安朝文学における「ををし」と「あざやか」の用例をとらえたうえで、『源氏物語』における男性造形の独自性と意味をとらえてみたい。

※どなたでも参加できます(無料)。ご来聴を歓迎いたします。

※当日は、同会場で13:45より委員会を、16:55より総会をそれぞれ予定しております。

また、総会のあと、17:45より懇親会を開く予定です(於 かわうち)。

お問い合わせ先 平安朝文学研究会 事務局 (早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

Tel: 03-5286-3705(直通), E-mail: jinno@waseda.jp